

平成21年度 大田区立相生小学校 自己評価 報告書

1 本校の課題及び特色ある教育活動における自己評価

大項目	評価項目	評価の視点	改善策	コメント
学力向上		家庭学習の新たな形「ホームワーク」について、児童及び保護者への周知を行うとともに、確実に実行し、児童の学習の定着度を向上させている。	◇児童・保護者へホームワークの意義を、様々な機会をとらえてきちんと伝えていくようにする。 ◇今後もホームワークが児童に定着し、児童が学習習慣を身に付けられるよう努力していく。	ホームワークは一定の成果をあげているので、もう少し自己評価を高くしてもよい。
	学力向上のための学校独自の方策の下、児童の学力の向上を図っている。	全教職員によるフォローアップタイムを実施し、基礎・基本の学力の向上を図っている。	◇児童が自らの学習の定着度を確認できる方法を整えていく。 ◇今年度は算数科を中心に行ったが、他の教科へも拡大できるようにしていきたい。 ◇発展的な内容の教材も用意する。	結果として数字に表れていることが分かる。
		学校図書館の有効活用を図り、放課後、土曜日、長期休業中の開館、読み聞かせ活動を通して児童の読書力を向上させている。	◇図書室の整備を定期的に行い、利用しやすい環境をつくる。 ◇本の紹介カードをいろいろな場所へ掲示したり、児童の活動に組み入れたりして、本を紹介する機会を増やし興味を高める。 ◇読み聞かせの方法を工夫したり、対象の学年を拡大したりして、読み聞かせの活動を充実させ、読書に親しませる。	読書量を増加させる具体的な手立ては学校が実行している方法の外にもあると考える。 下校時の児童が学校で借りた本を話題にしている姿を拝見し、ほほえましく感じた。
体力向上	体力テストの結果から本校の児童の課題を分析し、体力の向上と健康の保持・増進の面から、課題解決に向けて積極的な取り組みを推進している。	「早寝・早起き・朝ご飯」運動について理解し、朝の活動をはじめ運動・遊びの場を設定し、児童の頭と身体の日覚めを促すとともに、生活リズムの確立のために、積極的に働きかけている。	◇家庭との連携をさらに深めて、規則正しい生活リズムづくりを進めていく。 ◇クラスごとのスポーツ大会等を計画するなどして、木曜日の活動を活性化させていく。	規則正しい習慣づくりのため、学校は講演会・児童の活動を計画して実行し、成果をあげていることが分かる。
		体力テストの結果から本校の児童の課題を分析し、新しいスポーツや課題のある体力を高める運動を紹介するなどして、児童の体力の向上を図っている。	◇体力を高める運動の例の掲示をさらに増やしたり、冊子にしたりして、自己の体力向上への興味や関心を高めていく。 ◇体育朝会を活用して、さらに多くの新しい運動やスポーツを紹介し、運動しようとする意欲を高めていく。	運動環境に恵まれているとはあまり言えない中で、いろいろと工夫している点で、もう少し高い評価しても良いと考える。
一人一人に寄り添う	児童の状況を把握し、適切に関係諸機関との連携を密にしながら、一人一人に向き合う教育を推進している。	遊びを通した人間関係作りの推進について理解し、朝・中休み・昼休み・放課後の遊ぶ時間の確保に努め、また自ら遊びの輪に入って人間関係作りの推進に努めている。	◇今まで以上に遊びを通じて児童と過ごす時間を増やすよう努め、児童の内滑な人間関係作りを推進していくようにする。 ◇遊びを通じたかわりや観察を通じて適切に指導を行い、学級内に安全で安心できる雰囲気これまで以上に醸成していく。	朝遊び・昼休み時間の延長など地道な取り組みが成果として表れているので、もう少し高い評価しても良いと考える。
		全教職員での児童理解を図る場を設け、スクールカウンセラーと連携しながら、特別支援も視野に入れて児童個々の課題に対応できるよう、全校での協力体制を整えて指導している。	◇今後も児童の様子について、いつでも話し合える時間と場所を確保していく。 ◇常にスクールカウンセラーと連絡を密にして、児童理解を深めるとともに、児童個々の課題に対応していくようにする。	指導の様子や結果が見えにくい、スクールカウンセラーの取り組みについては、講演会等を通じて理解できている。
校内研究・校中研修	校内研修(各種プロジェクトによる提案授業・外国語活動研修等)を通して、授業力の向上を図っている。	プロジェクト組織により学校課題の解決につながる実践的な研究・研修を行い、個々の課題を明確にし、課題解決を図っている。	◇今年度の取り組みを生かして、来年度の学校の課題を明確にし、解決に向けて研究を進められるようにする。 ◇プロジェクト間の連携を今年度以上に密にし、研究や実務の成果を学校中に広めていくように努めていく。 ◇経験豊富な教員の授業から学ぶ機会をさらに充実させ、相生小学校全体の指導力向上に役立てていくようにする。	新しい取り組みを前向きに実行していることが分かる。始まったばかりなので、成果が表れるまでにはもう少し時間が必要と考える。
地域等との連携	保護者・地域および関係諸機関との連携を図り、地域の教育力を活用しながら児童の健全育成に努めている。	学校だよりやホームページ等による教育内容の積極的な情報発信のため、担当者へ積極的に情報を提供したり、ホームページ更新に積極的にかかわったりしており、保護者や地域から学校の教育活動に対する理解と協力を得られている。	◇ホームページの更新は情報が新鮮なうちに適宜行っていくようにする。 ◇相生便りの行事予定に誤りが見られたので、発行前のチェック体制を確立し、正確な情報を発信していくようにする。	毎月発行の学校便りから情報を得られている。ホームページの更新も引き続き努力をお願いしたい。
		年度当初の学校の教育活動の説明会や、年度末の報告会を通じて保護者・地域の理解を得ながら、共に子どもたちを見守り、育てることに努めている。	◇学校の取り組みを広く周知する場を設定し、ご理解とご協力を頂けるように努めていく。 ◇今年度同様2学期後半までの中間報告会を行っていきたい。 ◇保護者や地域の方との触れ合いを通じて顔見知りになり、これまで以上の信頼関係を築いていくように努めていく。	学校は積極的に取り組んでいることが分かる。運動会や学芸会と比較して研修会や説明会への保護者の参加が少ないことが残念に思う。
		あじさい校区連絡会を通じて、地域の教育力を活用し、児童の健全育成を図っている。	◇あじさい会での取り組みは児童の健全育成に役立っている。取り組みの様子を積極的にお知らせし、地域・保護者が共通理解の下で、児童の健全育成にかかわれるようにしたい。	あじさい会でも教員がよく勉強していると思う。そのことで、あじさい会の取り組みを子どもたちに十分に伝えていくと考える。

2 指導課事業における自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	評価項目	評価の視点	改善策	コメント
学力向上	大田区学習効果測定の結果を分析し、全教員で授業改善に取り組んでいる。	授業改善プランを共通理解し、プランに基づいた授業を展開し、全教員が児童の学力向上に努めている。	◇大田区学習効果測定の結果の分析に基づいた改善策を常に意識した授業を展開するようにする。 ◇授業改善プランに基づいた指導を行った結果を記録し、常に検証をしていくようにする。	結果として数字に表れていることが分かるので、もう少し自己評価を高くしてもよい。
	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る授業を行っている。	放課後及び、土曜日の補習教室は計画的に実施され、児童の学習の定着度を向上させている。	◇放課後及び、土曜日の補習教室を充実させ、さらに児童の学習の定着度向上を図っていきたい。 ◇さらに十分に補習が機能するよう、条件を整えていく。	結果として数字に表れていることが分かる。
	小学校外国語活動の充実に努めている。	ALTとの連携による、指導法の研修を行うとともに、校内研修においても場を設定し、指導力の向上と教材・教具の充実を図っている。	◇様々な研修会を通じて情報を収集してきた。情報の収集を継続しながら、今後は外国語活動の授業の計画づくりを研究授業を通じながら行っていく。	指導の様子や結果が見えにくい、外国語活動の取り組みについては、説明会等を通じて理解できている。
人間力向上	規範意識向上プログラムに基づいた教育活動を推進している。	全教職員が共通ルールのもとに、児童に対して共通行動をとりながら生活規律の徹底を図っている。	◇生活指導に関する共通指導事項の徹底を図ったり、相生小学校の児童の現状を共通理解し合ったりする時間を、毎週金曜日に確保している。今後も継続して指導にあたっていく。	町で見かける子どもたちはよく挨拶ができています。教職員のチームワークがよいと感じている。不断の努力で成果もあげていると思う。
	早寝・早起き・朝ごはんの推進を図るために家庭における基本的な生活習慣の確立を啓発している。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取り組みについて、学校・学年だより・ホームページ等を通じて家庭・地域へ知らせるとともに、生活リズムのアンケートを実施したり、講演会を実施したりして啓発している。	◇今後も生活リズムに関するアンケートを実施したり、講演会を実施したりして、啓発活動を継続していく。 ◇講演会の開催については、さらに積極的に広報をし、多くの方に参加していただけるよう工夫する。	7月16日に実施された生活リズムに関する講演会は大変によかった。保護者の参加を促す広報活動等は続けてほしい。
一人一人に向き合う教育	定期的な教育相談を実施し、児童・生徒の心に向き合う教育を推進している。	「子どもの心サポート月間」の取り組みの結果に基づき、児童に対する個別・三者面談を実施し、児童の状況把握や必要に応じて関係諸機関との連携を図っている。	◇今後必要に応じて面談を実施し、情報交換・児童の状況の把握に努め、適切に指導できるようにする。 ◇学校全体の様子や児童の様子について、情報を交換する定例の機会を設定していく。	実際の様子や結果が見えにくい、学校が行っている子ども一人一人を大切にするための取り組みについては、説明会等を通じて理解できている。
	問題行動の未然防止及び早期発見・解決に向けて努力している。	児童の状況を把握できる学校独自の調査等を実施し、必要に応じてスクールカウンセラー・民生委員等と連携を図り、問題行動の未然防止・早期発見・早期解消に努めている。	◇学校の機能は「予防と未然防止」と考える。今後もこの機能の充実を図るため、教職員間の連携を密にしていく。また、問題が発生した場合には、十分なフォローとケアができるよう、養護教諭・スクールカウンセラー・関係諸機関の機能を大いに活用していく。	実際の様子や結果が見えにくい、学校が予防対策・未然防止策を行い、子ども一人一人を大切にするための取り組みについては、児童委員との懇談会等を通じて理解できている。
教員の指導力向上	校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。	指導力、資質・能力の向上を目指して、OJTによる研修を行っている。授業を参観する視点を定め、授業者・参観者がともに一つの授業を作り上げる立場で研修を深め、指導力の向上を図っている。	◇プロジェクト制での研究・実践を導入して1年目が終わる。今年度の反省を生かして次年度はさらに機能的な組織として研究・研修が進められるよう努める。 ◇各自が行った研修についてその成果を発表する場をこれまで以上に設定し、研修の成果を学校全体のものとしていく。	新しい取り組みを前向きに実行していることが分かる。始まったばかりなので、成果が表れるまでにはもう少し時間が必要と考える。
	授業改善リーダーによる公開授業への参加、指導課主催など校外で行われる各種研修会に参加し、教員の指導力の向上に努めている。	授業改善セミナー等の研修から得られた授業改善のポイント等をまとめた研修報告を作成し、校内へ還元している。または、報告書を基に授業改善を試行しようとしている。	◇授業改善セミナーの成果を反映させ、相生小学校の児童の実態に合わせた教材を工夫したり、指導方法について検討したりして、授業を通じて成果を検証し課題を明らかにしていく。	実際の様子が見えにくい、学習の結果が身についてきていることから考えて、成果をあげていると考える。
歩む地域と校共に	相互理解と信頼をはぐむ開かれた学校づくりに努めている。	各種学校行事や学校公開日や道徳授業地区公開講座を週休日に行うことで、地域・保護者との相互理解・信頼を育むとともに、授業への参画等も含め、連携した教育を推進している。	◇今後も学校公開の機会を利用して学校での取り組みを積極的にお知らせし、保護者・地域の方のご協力を頂きながら教育を展開できるようにしていく。 ◇さらに地域・保護者の方からご意見やご要望を伺う機会を増やすようにしていく。	学校は積極的に取り組んでいることが分かる。運動会や学芸会、学校公開日等の各種行事を週休日や休日に設定することで、保護者の参加を増やし、学校教育の説明責任を果たそうとしていることが分かる。